



武蔵石材新聞



施工前



施工後

少しずつ春の気配が感じられるようになってまいりました。先日、青山霊園にて墓所の整備工事を行いました。土の部分を「洗い出し」という技法で舗装しました。コンクリートやモルタルが固まる前に表面を水で洗い流して、砂利や石の粒を露出させる方法です。洗い出しをすることで凹凸のある自然な仕上がりになります。滑りにくく雑草対策にもなり、落ち葉などの掃除しやすくなりますので、選択肢の一つとしていかがでしょ

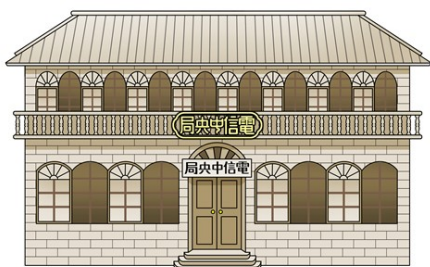
うか。併せて墓誌の新設、納骨室の増設、植栽の撤去、フェンス設置工事なども行いました。こちらの墓所には、福沢諭吉と共に初期の海外視察に派遣され、教科書にも載っているような人物が眠っているそうですよ。



知っていますか? 3月の記念日

●3月25日は「電気記念日」です

1878年(明治11年)のこの日に、電信中央局が開設されたことを受けて開局祝賀会が開催され、会場で電気灯が灯されました。このとき50個のアーチ灯が点灯され、これが日本で初めて公の場で点灯された電灯でした。後の昭和2年に開催された日本電気



協会の総会で、日本の電気事業の発祥を記念して、この日を電気記念日と制定しました。

■発行者: 有限会社 武蔵石材店

井岡 進 (いおかすすむ)

昭和48年12月 葛飾区新小岩生まれ
小松小、日大一中、日大一高、立正大妻、娘(大1、高2、中3)の5人家族
(父母も元気です!)

所属: 本田消防団、葛飾区法人会
東京土建葛飾支部、新小岩商交会、
小松通り会会長

※学生時代、イタリア料理店でバイトしていました。その経験で、今でもたまに家でピザを焼く(魚焼きグリルを使って!)のが趣味です。



(有) 武蔵石材店 TEL: 03-3651-0234
東京都葛飾区新小岩2-16-10

😊 ~お墓・仏事のミニ知識~ 😊

★日本のお墓参りはいつから始まった？

日本の「お墓参り」はいつから始まったのでしょうか？

日本では、縄文時代には既に埋葬の習慣があったことが確認されています。縄文時代の遺跡である青森市の三内丸山遺跡では、死者を大切に埋葬していたこと、お供えをしていた可能性があることが分かっており、これは「お墓参り」の原型と言えるかもしれません。



その後は、古墳のように権力者たちだけがお墓を造っていた時代がありました。時が流れて江戸時代後期になると、庶民もお墓が建てられるようになり、明治以降は家単位でお墓を建てることも増えました。ご先祖様や亡くなった家族を思い、供養するという現代のお墓参りの習慣は、お墓そのものの変遷と共に生まれ、変化してきました。

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

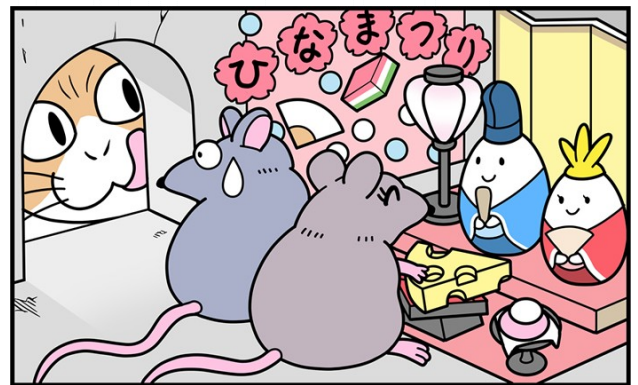
学問の神様として知られる菅原道真は雷神(天神)としても祀られてきましたが、農民たちから「めぐみの神」として崇められた理由は次のうちどれでしょう？

- ① 晴天をもたらすと信じられたから
- ② 雨をもたらすと信じられたから
- ③ 農具の発明者だったから

ヒント

雷が鳴ると、そろそろ…

🍵 まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。